

25
years
Since 1.17.1995
MEMORIAL EXHIBITION

震災25年特別展示のご案内

2020.1.2～ 5月上旬まで(予定)

会場：人と防災未来センター
西館1Fロビー(無料ゾーン)

好評
開催中

特別展示では、常設展示では公開していない、新たに選定した震災資料を公開しています。この展示にあたっては、震災を経験していない世代の地元中学生が、当センター収蔵庫や展示フロアにある資料の見学、ワークショップを通じて震災資料を選定する「学びのプログラム」を開催しました。



中学生が作成した資料の紹介文も合わせて展示しています。

ワークショップの様子 ～2019.11.9開催～

神戸市立渚中学校の生徒22名にご参加いただきました！

収蔵庫には、たくさんの震災資料があるんだ！



資料の紹介文を作成するために、常設展示に何かヒントはないかな？



どんなメッセージのある震災資料なのか想像しながら紹介文を作りました！

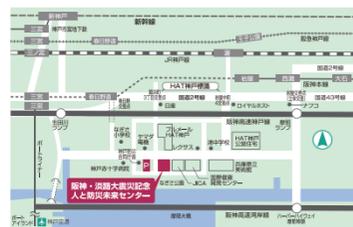


震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいかな？」と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃいます。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、**震災の出来事を伝えるために活用したい**とお考えの方など、悩んだ際には、**ぜひ一度、資料室までご相談ください。**

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念
DRI 人と防災未来センター 資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区臨浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター西館 5階
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062
URL <http://www.dri.ne.jp>
開室時間 9:30～17:30 (展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)
閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)
12月29日から1月3日



資料室は無料でご利用いただけます



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution



Vol. 71
2020年3月発行

資料室ニュース

令和元年度 資料室企画展

阪神・淡路大震災から25年

企画1 河田文庫オープンまでの道のり

企画2 被災地のナイチンゲール ～黒田裕子が遺したもの～

今年も資料室では企画展を行いました。開催期間は令和元年12月13日(金)～令和2年3月8日(日)まで開催しました。たくさんの方々に足を運んでいただき、ありがとうございました！



阪神・淡路大震災時から仮設住宅の被災者に寄り添い、支援し続けた黒田裕子さん。平成26年にお亡くなりになるまで、自身の活動を生きられました。企画展では、それらの資料の一部を黒田さんの活動年表とともに公開しました。

河田文庫開設式を行いました

令和元年12月13日(金)に河田文庫がオープンしました。文庫内には、河田センター長が長年携わってきた学術研究会やシンポジウムの報告書、書籍などを配架しています。

ご利用を希望される方は、資料室までお尋ねください。



特集

2020

写真が語る25年（最終回）

2020年1月17日に、阪神・淡路大震災から25年を迎えました。人と防災未来センターが所蔵する写真資料を通して、震災から25年の月日を感じてみませんか？
今年度の資料室ニュースでは、特集「写真が語る25年」と題して、所蔵する写真資料をご紹介します。今回は、特集の最終回です。

第3回 震災と避難生活

1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震で甚大な被害を受けた兵庫県南部地域では、約31万人の被災者が家屋の倒壊や火災等で家を失い、避難所にかけこみました。



資料番号:1400183-000004

・指定避難所

小学校や中学校

阪神・淡路大震災時には、約7ヶ月避難所生活が続きました。

早朝に起きた地震のため、避難した人たちを誘導する間もありませんでした。

学校に教職員が到着した頃には、学校は避難所と化し、教室や体育館、廊下にまで被災者がごった返していました。

・ルール作り

避難所で不特定多数の被災者が生活していく上で、かかせなかったのが、ルール作りです。

様々な生活習慣を持つ人たちが同じ空間で生活することは容易なことではありません。

写真のように、各避難所でルールが作られました。



資料番号:337-001011

・指定外避難所 公園やテント村

公園などにテントをはり、避難生活を送っている人たちもいました。



資料番号:2400090-000005

阪神・淡路大震災では、長期間避難生活が強いられ、被災者は問題が起きる度にルール作りをし、避難所生活の改善に努めました。避難所の様子の写真は、少ないですが、いくつか所蔵がありますので、検索システムから検索してみてください(<http://lib.dri.ne.jp/search/>)。寄贈もお待ちしております。

横断幕「がんばろうや！WE LOVE KOBE」

●元総理府阪神・淡路復興対策本部事務局員OB



西館1Fロビーにて展示中
(～5月上旬まで)

■資料番号:0000524-001001

神戸商工会議所から旧総理府阪神・淡路復興対策本部事務局が寄贈を受け、事務局内に掲示していた横断幕です。

新着資料 の紹介

新たな資料の寄贈がありました。
その一部を紹介します。

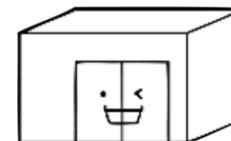
水筒 五目飯(缶詰)

●中尾千恵子さん

寄贈者である中尾さんは、震災当日、バイクに乗り、被害の大きかった東灘区の親戚を心配して訪ねて行ったそうです。その際、今回寄贈いただいた水筒に温かい飲み物を入れて持って行ったそうです。同じく缶詰は、東灘区の親戚が住吉の避難所でもらい、いくつかあったので、寄贈者にも分けてもらったものです。



■資料番号:0000525-001001
0000525-001002



震災資料はインターネットで検索できます。
詳しくはHPをご覧ください。